

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人 アンダンテ21
テーマ名	子育てや社会教育の推進
事業名	親子を対象とした自然体験活動推進事業
事業費(うち助成金額)	116,338 円(100,000 円)



■事業目的

新型コロナウイルス感染症の拡大や感染への懸念により、休日の過ごし方には変化が生じた。人が多く集まる場は敬遠されるようになり、その反動としてキャンプや釣りといった野外でのレジャーの魅力が再認識されている。本事業ではそういった社会背景をもとに、自然の中での遊び文化が薄れてきている親世代を巻き込みながら、密を避けた環境で心身ともに解放できる自然体験と学びを提供していくことを目的としている。また、専門家からのレクチャーを受けることで、今後も継続的に自然に親しみ、興味関心をもつことができるようになることを期待している。

■事業内容

親子を対象とし、野外で楽しむことができるレジャーを学ぶイベントを計4回行った。

第1回の手長エビ釣り教室では、高津川で手長エビ釣りをを行った。講師に教わりながら、河口に棲む手長エビをライトで照らし、釣って楽しんだ。第2回的大海釣り教室では、飯浦漁港でアジのサビキ釣りやハゼ釣りをを行った。ただ釣るだけでなく、仕掛けの準備の仕方やエサの付け方なども教わり、自分達だけで釣りができるようになった。第3回の子のこ狩り教室では、裏匹見峡にあるレストパークを会場にしてきのこ狩りや種類の判別を行った。昼食には参加者が採ったきのこを入れたきのこ汁を作り、食べるころまで含めた体験ができた。第4回の溪流釣り教室では、匹見の溪流でヤマメやゴギを狙って溪流釣りをを行った。釣ること、景色を楽しむこと、食べることなど、溪流の魅力をまるごと体験した。

■事業成果と今後の展望

本事業を通して、採ることから食べることまでを通した、これまでしたことのない体験や、新しい学びを参加者に提供することができたと思う。

活動の中では、親子がフラットな関係で話している姿を多く見る事ができた。また、どの教室でも、子どもたちだけでなく参加した親も目を輝かせて活動する様子が見られた。親子がともに初心者という状況で、一緒に講師から学び、一緒に楽しむという状況がそういった関係性を生んだのではないかと考えており、親子での思い出作りや絆を深めるという点からも成果があったのではないかと考える。

今回の参加者からは、後日自分達だけでも行ってみたいという連絡や、次回の自然体験教室を楽しみにする声も聞かれた。その期待を受け、次年度は他団体との協力体制をさらに広げ・深めるとともに、今年度実施できなかった暖かい季節ならではの体験を取り入れ、さらに内容を充実させた事業にしていきたいと考えている。